

同和教育
3時間を通して

持ち続けたい差別を許さない心

11 月に入って、3 時間をかけて同和教育を行いました。1 回目では被差別部落の意味や歴史を学び、2 回目は就職差別、3 回目は結婚差別について考えました。日頃から生徒たちはいじめや差別はいけないことだと理解して生活を送っていますが、自分たちの近い将来にも差別を感じる場面があるかも知れないという内容に驚き、怒りにも近い感情を抱いていたようでした。同時に、自分たちの身近にそのような差別を感じたら、差別をやめさせなければならないと思った生徒が多くいました。

被差別部落に限らず、他にも人種や性、職業などによる差別が論じられることがあります。そのような身近な差別にも敏感になり、正しい感覚と行動する勇気を身に付けていってほしいと思います。

以下は 11 月 25 日の 3 回目「結婚差別」を学習した後
に生徒が書いた「結婚差別をなくすために自分たちがで
きることや考えたこと」から抜粋しました。その授業での資料「春遠からじ」もおたよりシス
テムでお送りしましたので、是非お読みいただき、御家庭でも話題にしてみてください。



班内で意見交換（2組）



「結婚差別」の授業

各班の意見を全員で共有（1組）

- まずは他人事だと思わずに、自分事と考えて正しいことを知ること、結婚差別などの「差別」を許さない、見逃さない、絶対にしないことが大切だと思います。結婚するのは2人。誰が何と言おうと2人の気持ちを尊重する！
- 今日の授業のような差別問題についての授業に、これからもしっかりと参加することや、差別をしている人がいたら見て見ぬふりをせずに、それは間違っただときちんと伝えることが重要だと思いました。
- 生まれた場所が原因で結婚できないのはひどいと思いました。被差別部落に生まれたって同じ人間なので、そういう人を応援したいと思いました。
- 親の立場からしたら、子どもが本気で好きな人と結婚するって言ったら、それはOKをださないといけなかったと思います。被差別部落とかは関係ないと思いました。
- もし自分の身近で結婚差別があったら、反対している人やその周りの人の考えを変えられる人になりたいです。
- 偏見をなくす。自分の意見もちろん大事だけど、相手の立場になってこれを言ったらこの人は傷つくんじゃないかなどを考えることが大切だと思いました。もし差別をしている人がいたら、怖いけど反論してみる。
- まず大前提として、被差別部落出身という理由だけで大切な1人の人生をメチャクチャにするような差別をするのはおかしい！！！！自分が好きでそこに産まれた訳でもないし、変えることもできない。おばさんのような考え*をする人は、おばさんだけでなく沢山いると思うので、よく知って、そんな考え方はおかしい、間違っていると自覚してもらい、私も正しい知識を広めていきたい。 ※「おばさんの考え」は、資料で御確認ください。
- 差別をしている人がいたら、上下関係を考えずははっきりとおかしいと言う。こんな差別をして幸せになる人もないし、得する人もない。この世から差別がゼロになるように1人1人が「間違いだよ」と発信する。
- 被差別部落出身というところに目を向けるのではなく、その人の中身を見てあげられる人になりたいです。差別自体をなくすのは難しいけど、1人1人が差別をしない意識を持つことが大切だと思いました。

Good-bye □□! Welcome ○○!



11月に入って、ALTが□□先生から○○先生に代わりしました。□□先生は、生徒にとっては入学時からお世話になっていて、日本語も上手でしたので、気軽に話しかけられる存在でした。勤務最終授業となった11月14日6限は、幸運にも1組の授業で、生徒たちは□□先生への惜別の気持ちを黒板に書き、いつも以上に張り切って授業に臨みました。数人の生徒達は、授業後もしばらくは□□先生の周りに集まり、別れを惜しんでいました。

後任ので○○先生は、大学を卒業後に来日し、日本語を含めてほとんど何も分からない中で上越に来ましたので、その不安はかなり大きかったと思います。そのような中、幸運にも11月21日の記念すべき初授業が、3年生で行われました。授業は○○先生が英語で自己紹介をした後、それについての質問を生徒に投げかけることから始まりました。やや早い口調でしたので、

初めは聞き取りにくかったようですが、後半に班単位で相談しながら答える形式にしてからは、和やかな雰囲気が進むようになってきました。授業後にも質問をする生徒達もいて、生徒達の関心の高さが感じられました。



三者面談に向けた準備をお願いします

12月10日から12日にかけて三者面談を行います。12月5日に「私の受検計画」を生徒に書かせ、それを基に面談を進めていきますので、面談前にはお子さんが書いた「私の受検計画」に目を通し、親子でその内容について確認し合ってください。また、12月1日から公立高校・上越高校・関根学園のWeb登録が可能になりますので、受検を予定される場合は登録だけでもしておいていただくと、その後の出願がスムーズにできるかと思います。

なお、「私の受検計画」用紙は、学年だよりとともにおたよりシステムでお送りしましたので、どうぞ御活用ください。